

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	聴覚心理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	田中 良				
実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》					
音響学的に見てきた音の性質が人間の心理的な処理を経由したときに、どのように感知されるかを扱う。基本的に国家試験の範囲で行う。できる限り平易な表現で授業を行うので、各自がゆっくり咀嚼すれば毎回理解できる内容となる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
配布した授業資料を丁寧に復習すること。					
《履修に当たっての留意点》					
人が感知した場合の音の性質を理解する。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	発声に関わる音響学的特徴の基礎について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	声帯音源 声道内での共鳴 母音			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	子音の構音の音響学的特徴について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	子音 空気中の音			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	聴覚フィルターについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	聴覚フィルター			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	マスキングの仕組みについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	マスキング			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	音の大きさと高さの知覚について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	大きさ 高さ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	音の大きさ・高さの弁別について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	弁別 音の知覚の法則		
第7回	授業を通じての到達目標	閾値・等感曲線について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	閾値 検査でのレベル		
第8回	授業を通じての到達目標	聴力レベル・感覚レベルについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴力レベル 感覚レベル		
第9回	授業を通じての到達目標	両耳聴の性質について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	両耳聴		
第10回	授業を通じての到達目標	短音に関する知覚・騒音の測定に関するレベルについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	短音の知覚 測定でのレベル		
第11回	授業を通じての到達目標	聴覚器官の特徴について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴覚器官全体 外耳道 中耳		
第12回	授業を通じての到達目標	主に内耳の役割について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	内耳 聴神経		
第13回	授業を通じての到達目標	音楽の音階について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	音階		
第14回	授業を通じての到達目標	楽器に関わる音響学的特徴について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	楽器の音響		
第15回	授業を通じての到達目標	聴覚心理学のすべての項目を定着させる。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴覚心理学の総復習		